

県央ブロックごみ処理施設整備候補地太田地区住民説明会の開催結果

- 1 開催日時 令和元年 9 月 18 日（水） 18 時 30 分から 20 時 53 分
- 2 開催場所 太田地区活動センター
- 3 出席者
 - (1) 住 民 74 名
 - (2) 報道機関 6 社
 - (3) 協議会 12 名（菅原事務局長，小原次長，森田主幹，山内副主幹，菊池室長，古川主査，中里主査，中嶋主査，木村主任，村田主事，日環センター池本氏，渡邊氏）
- 4 会議概要
 - (1) 開会
小原次長により開会及び司会進行
 - (2) あいさつ
菅原事務局長からあいさつ
 - (3) 説明
菊池室長・木村主任から「県央ブロックごみ処理施設の整備について」を説明
 - (4) 質疑（質問者 14 名，質問・意見数 36 件）

発言者・回答者	発言内容
① A	1 新しい焼却施設ができるまでの間 250 トンごみを減らすと言っているが，その流れでいくと，まだまだ減ると思う。盛岡市及び広域圏の人口が右肩上がりに増えるとは予想されないと思われるが，その辺に関して，新しい焼却施設ができるまでの間，どの様に 250 トンを減らしていくのか，あるいはその対策ができるのであれば，その後も更に減らしていくことができるのではないか。
→菊池室長	1 現在の 753 トンは，施設が処理できる最大能力の合計である。実際には，各施設ともそれより少ない量で運用されている。各市町の取組などによりごみの量を減らしていき，令和 11 年度までに 500 トンを目指すということになる。
→森田主幹	1 減量について，8 市町でごみの減量・資源化に関する計画とし

	<p>て、昨年度から循環型社会形成推進地域計画の立案に取り組んでおり、新しい焼却施設は令和 11 年度からだだが、その前の段階から 8 市町で連携してごみの減量に向けて共同で取り組んでいる。具体的ことについては今も連携して協議を続けている。ここでは 500 トンと施設規模を算定しているが、効果的なごみの減量施策をもって、それよりも更に少なくなるような取組を続けていきたい。</p>
② B	<p>2 具体的な減量の方法が聞きたいという質問ではないか。</p>
→森田主幹	<p>2 減量については色々な取組が考えられる。例えば、盛岡では、家庭系ごみは比較的少なくなってきたが、一番問題になっているのは事業系ごみである。これをどのように減量化を図っていくかということが喫緊の課題となっており、令和 2 年度から、事業系ごみの中に含まれるリサイクル・資源化可能な古紙類の搬入を規制することによって、これを資源化のルートへ誘導していく。そういったことによって、ごみとして処理していくものを減らしていくことに取り組んでいる。各市町でも盛岡市の例を参考にしたり、（盛岡地域では）資源化していない生ごみ等については参考にさせてもらい、連携しながら取り組んでいくこととしている。</p>
③ C	<p>3 私は太田の会として、他の会と連携しながら県央ブロックごみ処理広域化計画の撤回を求めて運動してきた。その中で 9,000 筆以上の署名を提出しているが、これについて市としてはどのように評価をしているのか。</p>
→菅原事務局長	<p>3 撤回を求める会の皆様には、太田、前潟それから松園方面も含めて、何回かに分けて約 9,000 以上ということで頂いている。その評価については、やはりその地域の方々の真摯な不安、計画そのものについての疑問という部分が一番大きいと思う。それらについて、説明会の場で一つ一つ御説明させてもらい、内容については首長が集まる会議に、内容や数字が来ていると報告しながら、議論をしているところであり、トータルで約 9,000 以上になるので、それぞれの意見をしっかり受け止める必要があると思っている。</p>
C	<p>4 今の答弁では、絶対に撤回はしない、一歩たりとも後退はしない、妥協はしないということでいいか。これくらい市民の意思が示されているのにこのまま進めると。ましてや市長選挙において、</p>

	<p>広域化の見直しを表明した対立候補の票を足すと谷藤市長より1万7千票多く獲得しているのに、選挙が終わった途端に、今までどおり計画を進めるといのはあまりに誠意がなさ過ぎるのではないか。署名はどれくらい集めればいいのか。</p>
→菅原事務局長	<p>4 選挙の話だが、まず票数と広域化の部分について、どの程度の関わりがあるかということ自体は、候補者の方も一つのことだけではなく色々な分野の話をしていたので、一概にそこ（広域化）だけでの判断というのはなかなか難しいと思っている。ただ、候補者の方が争点として仰っていたので、有権者の方も、広域化の部分や医療、福祉など総体的に考えて投票したと思うので、どの程度の影響があったのかは判断しかねる。また、その結果を、全く無視して進めていくのではないかという趣旨の質問かもしれないが、今日の説明会については、3月下旬の協議会でも、関係する地域の方々には説明するべきだという意見があり、3月にも太田地域の方からも十分説明してほしいという話があったと受け止めていたので、こういう場面で今の状態を説明することが肝要だということで設定している。</p>
C	<p>5 説明会を開く以上、そちらとしても、しっかりとした意見、考え方をもちて臨んでもらわなければ困る。説明会を何回したからといって決めるのではないかと疑心暗鬼になっている。しっかりとした考えを聞かせてほしい。</p>
→菅原事務局長	<p>5 資料で説明した部分は、3月以降も含めて土淵地域の方にも話した部分であり、資料2については、太田地域から頂いた質問への答えが多い資料である。説明会の趣旨の質問かと思うが、まずは今の状況、3月以降ある程度の期間が経っているので、今回、まずもって地域の方にお話すべきだと考えて伺っている。</p> <p>4 署名数はいくら集めればいいのかという質問は、どれ位の数があればとか、数が少ないか多いか等についてはなかなか難しいものではないのかなと思う。例えば、他自治体の例では、説明や懇談など膝をつき合わせて話をする方法もあると思うので、いずれにしても、今日も頂いた要請書に書かれている項目について、内容の検討をしながら、次の機会等を含めて答えながらやり取りをさせてもらえればと考えている。</p>

④ D	<p>6資料1の10ページの整備候補地の選定経過について詳しく教えてほしい。誘致要望があったところはなぜ外れたのか。3月の協議会で最有力候補地に選定した、総合的に評価した条件などの内容について、地域住民や関係者の意見とはみんなが賛成したのか。整備の確実性、整備運営上の諸条件は何について重点を置いて総合的に判断したのか。お金だけの問題ではないと思うが、盛岡インターチェンジの役割は考慮されたのか。県都盛岡市の入口として、観光面や大型商業施設、牛乳工場などの産業面等の風評等は考慮したのか。総合的な評価とはどのようにしたのか。</p>
→菊池室長	<p>6地域住民や関係者の意見等については、盛岡南インターチェンジ付近では、商工関係団体から地域振興提案を添えた誘致要望があったが、29年9月に周辺町内会、農業関係者団体で構成する組織から施設整備に反対の要望書が提出されるなど、地域住民と対話することが難しい状況になっている。都南工業団地についても、説明会の進捗の中で地域住民と対話を継続することが難しい状況となった。盛岡インターチェンジ付近については、土淵地区の均衡あるまちづくりについての地域要望があり、懇談会を重ねる状況にあるが、一方では反対の意見もある。盛岡市クリーンセンター敷地においては、広域化に反対する団体から当該地に整備することについての反対要望書が提出され、住民説明会が中断するような状況である、というのが地域住民との状況である。</p> <p>整備の確実性については、盛岡南インターチェンジ付近については、地権者を含む地域住民や農業関係団体からの反対の声が強く、整備を進めることは非常に困難な状況である。都南工業団地付近については、反対意見を明確に示している地権者はいないが、候補地周辺では広域化に反対する意見が強くなってきており、関係者の意向への影響が懸念されるような状況である。盛岡インターチェンジ付近については、地権者の中にはごみ処理施設の整備を含め土地利用の推進を望むような意見があり、懇談会において区画整理跡地について話し合いを進めるような意見が出ている状況である。盛岡市クリーンセンター敷地については、強い反対意見が出されている地域があり、また覚書に係る協議も進める事ができず、事業説明も実施できない状況である。</p>

	<p>整備運営上の諸条件としては、造成工事に相当する部分の費用等の比較について、4つの候補地で検討を重ねた。これらのことを総合的に判断した上で、最有力候補地を盛岡インターチェンジ付近にするという協議の方向になった。</p>
→森田主幹	<p>6資料1の10ページについて、(3)の優先協議を実施する2候補地の選定の中の「都南工業団地付近」「盛岡インターチェンジ付近」地域からの開催要望等があり、というのは地域からの説明会の開催要望があったという意味合いである。先に説明した選定経緯については説明のとおりだが、ホームページ等にも資料を掲載しているので、御覧いただければと思う。</p>
D	<p>7私が一番聞きたいのは、経緯の地域住民関係者の意見はどのようなかということだ。誘致に賛成しているのか。</p>
→森田主幹	<p>7盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地と協議会で決定した中で、地域の方々の状況はどうかと (説明途中で参加者より発言「マイクを使うと反響して聞き取れない。」マイクを使用しないこととし、市・住民とも席を近づけるよう移動。) 土淵地区、地域の方にも賛成の方だけではなく反対の方もおられることは、協議会には伝えているし、また、太田地区から反対の意見を頂いていることも伝えた上で、総合的に評価と言ったが、4候補地を比較し、今後も地域の方々と話を継続して進めていける箇所はどこかとなったときに、盛岡インターチェンジ付近であると協議が持たれたという結果である。</p>
⑤ E	<p>8県央ブロックごみ処理施設用地に関わる情報の中で、立地を避けたほうが望ましい場所の中に開発許可区域とある。以前この地域は上厨川土地区画整理組合で開発予定だったが、市役所はここにごみ処理施設を持ってきたいがために認可取消しをした。また、主要道路から1km圏外とある。候補地は道路が3本あるが一番近い主要道路から20mだ。ここには1km圏外と書いてある。 (参加者発言「これは何回も質問出ている。明確に答えないから何回も質問が出る。はっきり答えて。」)</p>
→菅原事務局長	<p>8全域を対象にして条件を入れて、候補地を400いくつの数字から絞っていったときの条件の一つの話だと思うが、1km以上のと</p>

	<p>ころは除くという条件で出しており、今の話では逆の言い方になっている。色んな条件の一つとして、運ぶには交通の便が良い方がいい。アクセスだけが条件ではないが、その中で近いところを選ぶということで、1 km 以上離れた所は除くことになっているが、今の話だと、逆の取り方をされているように思われるので、運びやすい所は道路から近い所になるので、収集運搬経費が掛からないので、条件の一つとしてアクセスは近いほうが</p> <p>(説明途中で参加者発言「条件が変わったという意味合いになるのか。」)</p> <p>変わってない。最初から条件は同じである。</p>
⑥ F	<p>9 私がこれを受け取ったのは平成 28 年 9 月 13 日で、組合は断った。断ったら次の日に前潟町内会長にこの話がいった。前潟町内会長は手を上げた。市役所の話に乗ったということだ。受け取ったときの書類がそうになっている。それが変わったということは、受付したのも取消しになっているということか。</p>
→菅原事務局長	<p>9 立地を避けることが望ましい所として、主要道路から 1 km 圏外ということになるので</p> <p>(説明途中で参加者発言「最初から項目として出ているだろう。」)</p> <p>分かり難いかもしれないが、1 km 圏外を除くということだ。条件が変わったわけではない。</p>
⑦ G	<p>10 環境アセスをすることについて全く資料に書いていないが、土地ももう決まったことのように知らされているが、土地の地権者が賛成していない。土地もない段階で、まるで環境アセスの結果ありきでの計画に見えるが、洪水のハザードマップを載せただけでいいのか。これだと素人でも環境アセスができる。火山や洪水などハザードマップで危険地域ではなくても、いくらでもあちこちで災害が起きているが、環境アセスはどのタイミングで行われるのか。</p>
→菊池室長	<p>10 施設の整備計画、用地のどの位置にどの規模の建物を造るかを計画の中で定めて、その上で環境アセスメントという手順になる。</p>
G	<p>11 環境アセスの結果、そこは良くないという場合はどうするのか。</p>
→日環センター 池本氏	<p>11 基本的には、候補地を選び用地が決まった後に、環境アセスを行う。どのような施設にしようか考えながら進めていくが、そこ</p>

	<p>で良いとか悪いとかではなく、より良い環境対策をしていくにはどのような、地域にあったやり方があるのか。例えば、学校のそばには、騒音が出る機械を置かないことにより騒音対策をすることなどを考えていくことが環境アセスであり、環境の現状を把握し、施設建設後を予測する。その予測の結果を見て事業をより良くしていくというのが環境アセスになっており、良くないという事はないと考えている。</p> <p>(参加者発言「アセス結果は住民が判断するのかある程度。」)</p> <p>環境アセスに関しては、基本的には事業者が策定し事業者が判断するものとなっている。</p> <p>(参加者発言「俺たちは関係ないわけだ。」)</p> <p>事業者が報告書等を作るが関係ないわけではなく、書類を縦覧して意見を求めたり、このような形で説明会を行うよう手続きが定められている。特に今回の規模となると、岩手県の条例で定められる事業となるので、その中で条例に則って進められることになる。その中で、より良い環境対策について対応していくのが環境アセスとなる。</p>
G	<p>12 対話ではなく一方的な説明会で、こちらが何を言っても変わらない。説明会の開催の意図に不安を持っている。ごみの減量といっても、ただ広報で分別のお知らせが来るだけで、生ごみのコンポストに助成金が出るとかそういう具体的な対応策は全くない。市民の声は反映する訳ではないので、説明会の資料を見ると前回とそんなに変わっていない。こちらとしては、これで、ここにはもう説明したということになるのかという不安がある。これで説明したので、もう住民合意は得られたということにされることをとても心配している。</p>
→菅原事務局長	<p>12 ごみ減量の話もあったので、少し触れながら進めるが、9月1日号に地区別収集の各地域のごみの量、これは29年度から取り組んでおり、盛岡地域の、例えば松園・上米内地域もそうだが、地域ごと一人当たりのごみの排出量や、集積場所の状況をおおよその様子を見ながら、結果を広報でもお知らせする。あとは全員の参加ではないが、各地域で、ごみの懇談会を年1回ほどさせてもらいながら、会長やきれいなまち推進員を中心に、データブッ</p>

	<p>ク化して、確か太田では、草木が多く新聞も配達されているため、燃えるごみの量が多いのではないかという意見があった。そういうやり取りをしながら、先ほど事業系は別の方策があったが、家庭系ごみは、できるだけ話し合いで、ごみ減量も進めさせてもらおうと思っている。懇談会はずっと続けていきたいと思っている。</p> <p>説明が今回で終わりに、ということについては、先ほど、開催趣旨やこれまでの経緯の話もあったが、今の状況を地域の方にお話させてもらうところである。3月の協議会の話もしたが、状況を判断してもらおう協議会の場には、データとして署名数や、貴重な意見があったということも報告している。その中で、いつか決定の判断は必要になってくると思うが、地域の状況を確認しながら伝えている。今後も意見などについては出してもらいたいし、また、前回の質問の答えなどは引き続き用意して答えていきたい。</p>
⑧ H	<p>13 環境アセスは、建てることが決まった後に、環境対策のためにやるという話に聞こえたが、そこが良くない場合は建てるべきではないと思うので、説明者に騙されているように感じる。環境アセスを実施後に候補地を決めるようにしないと何度説明会を実施しても意味がない。</p>
⑨ I	<p>14 市では害がないといっているが、どういう調査で害がないと言っているのか。というのは、今までのアスベストや水俣病などの公害は、後で変化が出てきて病気になっていっている。市では疫学調査などをやっているのか。</p>
→菅原事務局長	<p>14 科学的にというか疫学的にという部分についての根拠も含めて資料の21・22ページになるが、国で環境基準が定められている。これは国で、一定割合で身体に入っても、これ位だったらある程度大丈夫ではないかという数値がある。我々の生活圏の中の環境であり、我々の生活圏の中でどうだという数値がある。それに、支障がない程度しか工場から出してはいないというのが排出基準になるし、さらにそれよりも厳しい自主基準というものを定めたりする。国が言っていることを全部そのとおりにしていいのか、ということがもしかしたらあるかもしれないが、全国的にも、同じように環境基準、排出基準、自主基準がありやっていると思われる。先ほど中身について少し触れたが、実際に健康被害があっ</p>

	<p>たという報告は国などからも出ていないので、他の地域にある施設と同等の、しっかりした施設にすれば</p> <p>(説明途中で参加者発言「放射性セシウムの環境基準値はあるのか。」)</p> <p>(参加者発言「ないですよ。結構出るんですよ。舞っているのもあるし、貯蔵している稲わらとかもある。」)</p> <p>ない。市内には14箇所だったと思うが、地図でエリアを決めて継続して測定している。</p>
<p>⑩ J</p>	<p>15 我々がお願いした説明会をして、そして今日は半年経った。地球温暖化で今おかしくなっている。雨がいくら降るか、仮に地震が起きて建物が崩壊することはないか。私は施設の必要性は認めている、ごみを出しているから。何で盛岡インターチェンジ付近なのか、聞いていると皆さん誰一人納得していない。何で太田が決まりきったような宿命を受けて、資料が、いかにも決まったような作りである。そして、もう一つ聞きたいのは、施設は10年後に建てるのに、そういうシミュレーションが全然ない。資料は今のデータだ。実際何年持つのか、何年を目処にやろうとしているのか、そういったことが一切うたわれていない。確かに他都市ではこういった施設を造っている。良いことを沢山書いているが、そういったことは原発もそうで、誰も原発がああいうふうになるとは思ってなかった。ただありきたりのデータをかき集めてこうですと、ハザードはこうですと。うちのエリアはハザードで300ミリ降雨の想定で3mだ。ダムが決壊しないと書いているが、御所ダムが決壊しそうになったことはあった。朝日新聞に書いている。雫石川の奥から土木が流れてくる。さっきの主要道路から1km未満・以上の話だが、ネットで調べているが、さっき言われたとおり1km未満は駄目だ。ネットをよく読んでほしい。全然このデータはおかしい。さっき言ったとおり、皆ごみを出すので、ごみ処理施設は必要だ。ただ、場所をもう少し考えた方がいいのではないか。決まりきったような、一生懸命な市の話はありきの話で、それから業者の方も来ているようだが、あなた方は100%壊れないとは言えないだろう、地震とか色々なことがあるんだから。さっき言ったように10年後に建設で、何十年持つのか。そういっ</p>

	<p>たことも踏まえて、道路条件や周りの環境をやっているのか。それから太田地区は農家が多い。それは関係ないと言うだろうが、でも飯岡地区は農家が皆反対している。それから、過去の事はよく分からないが、松園地区では、これ以上あと何年かで松園地区には持っていけない、なんかそういう違反行為があったとか何とか言っている。やはり住民をもう少し信頼して、住民が言うのは本当だと。市長だって一生懸命選挙で言っていた。もっと住民の声を聴こうと言っているにもかかわらず、今みたいな説明をする。住民として聴いていたが、自然災害とそういうことを踏まえて、10年先何十年先か分からないが、そういうことを踏まえて、人口は減るだろうが、そういうことを計画しないと、10年経ったら私は知りませんと、そんな感じだ。10年先に建てるわけだから、それから何十年後どのようにするのか、そういう話をしないと、聞いていても本当に資料だけ読むと素晴らしい。各市町が下さいというような施設だ。素晴らしい色々な施設が建つわけだろうから。いくらかかるか分からないが。だが、周りは皆反対しているではないか。そんなことをやるのは方向が違うのではないか、ベクトルが間違っているのではないかと思う。いずれ、住民と市とはベクトルが全然ずれている。もう一度色々検討してほしい。うちの町内会はほとんどが反対だ。はっきり言うがやり方が違うのではないかという話なので、是非ぜひもう一回検討してほしい。今日で決まった訳ではないだろうから、どうぞよろしくお願いします。</p>
<p>⑪ K</p>	<p>16 私の周りの滝太橋からの道路が非常に混む。土日はもちろん平日も結構混む。太田にばかり通るわけではないが、できたらますます混雑すると思うと不安だ。滝太橋から私立高校前までの歩道が非常に狭く危険だ。建てる時は歩道を広げてほしい。それから、発電の能力・売電収入は素晴らしい。こういうのであれば私は大賛成だが、ゲートボール場・テニスコート・グラウンド、これらは少子化になって人が集められまるか。市民が楽しくできるか私は不安だ。ごみを焼くのは市民の願いだ、環境を良くするため。これの発電能力を生かすために何とか考えていただければと思う。</p>
<p>B</p>	<p>17 立派な資料を見せてもらい、環境にも優しい、良い施設ができる等々説明があるが、別にほかに押し付けたいと言っているわけ</p>

	<p>ではないが、今のクリーンセンターのある場所では、こういった話を以前聞いている。話を聞いて理解しているはずなのに、今回非常に反対しているようだがなぜなのか。説明と違うことがあるからではないか。どうしてクリーンセンターは候補地から外れて、太田は残ったのか説明してほしい。ほかに押し付けたいということではなく、説明と実際が違うから今の住民の方々が反対しているのではないかと考えているのでその点を説明してほしい。具体的にどういう点か。ホームページで議事録を見ているので、覚書などそういった説明は結構だ。覚書があったとしても、今納得しているのであれば反対しないはず。そういう説明は要らない。そこからどうして踏み込めないのか。踏み込むべきではないか。</p>
<p>→森田主幹</p>	<p>17 覚書については説明不要とのことだが、どうしても覚書の、施設更新の場合は計画の段階から地域との協議を行う点と、更新する場合は分散立地を基本とする、分散立地というのは今のクリーンセンターの前は、盛岡市には門と三ツ割という2つの工場があり、その2つで操業していたものをクリーンセンターに集約するという点で、周辺地域の方からかなりの反発があった。クリーンセンターが操業することには理解していたが、更新する場合は、それを昔の門と三ツ割というような形で、市内に2箇所か3箇所という形でイメージされていたと思うが、ところが今お話ししている施設は、施設を2つにするのとは全く逆で8市町のごみ処理を全部1箇所です。先ほどお話があったが、ベクトルの方向が逆である。そういった中で覚書の中には地域と協議をするという項目もあり、我々としてはその部分で理解いただけるかどうかということによって説明会までやらせてほしい。やはり</p> <p>(説明途中で質問者発言「話を途中で切って申し訳ないが、覚書があるのは十分に分かっているが、実際に建物があって、そこで暮らしている人が理解をしていないという事は、何か問題があるはず。それがあれば、うちの場所に建っても問題が出る。であれば建てられない事になる。反対になるという事だ。今の覚書の説明は要らない。どうしてその住民の人たちを納得させられないのかということを知りたい、覚書の部分ではなく。できないということは、どこも納得できないということだ。目の前に施</p>

	<p>設がある住民がそう言っているのだから。そう思わないか。」)</p> <p>やはり他の地域からのごみを受け入れるという事に対する反対の声があったことは確かにあり、そこがまず地域の方の思いから生じた正直な生の声だと感じている。</p> <p>(質問者発言「どこでも同じではないか。」)</p>
→菅原事務局長	<p>17 今の質問は、資料全体の中で、もし近くに建ったらということもあるかと思う。全体を話すと、クリーンセンターの場合、公害防止対策協議会という、地域の方々も入った組織がある。年3回ほど会議を行い、モニタリングした結果を数値として出している。建設以降24年間続けてきており、そういう値については伝えているし、便り等も配っており状況は理解してもらっているのではないかと思う。今の質問のように、ある地域の方で煙突そのものを見るのも嫌だという気持ちの面の話があり</p> <p>(参加者発言「それはどこも同じだろう。」)</p> <p>20年前のイメージを持っている事もあるのではということ、我々は違う話をしているが、なかなか理解されないこともあるかもしれない。先ほどのことから少しずれるかもしれないが、覚書については、分散立地の考え方は、我々が20年間受けたのだから別のところでという、環境汚染という、議論立ての中での話があったと思うし、説明会の際には色々と話が出て、それでは2回目3回目と開ける状況が実際のところであり、説明が違うというよりは、データは見えていけばすぐ確認できるので、違うとすれば、先ほど言った感覚によるところが大きいと思う。</p>
⑫ L	<p>18 私の住まいは上太田で、前潟の地権者でもあることから、前潟の地権者として聞きたい。今日の説明会と、前潟の21日の集会とは全く異なった案内なので、何故前潟だけはとんでもない進み具合で、太田には今始まったような話、これはどういうことか。前潟の店舗を代表して来ている。太田の説明会との文書の違いは何故なのか。前潟と太田とは完全に異なる話なのか。前潟はいかにもスタートだ。今度の21日は説明会ではなく大学から講師が来る。いかにも決まったような話、しかし、太田には今始まったような話、これはどうしてなのか。どうして太田と前潟が一緒ではないのか。太田をわざと遅らせ、前潟をわざと推し進めたのか。</p>

<p>→菅原事務局長</p>	<p>18 今日の説明会について皆様方に差し上げたご案内と、今の質問は、今週の土曜日 21 日に、土淵地域を対象に廃棄物のエネルギー、燃やすとエネルギーが出るが、それを活かしたまちづくりのシンポジウムということで、何人か外部の先生を呼び、シンポジウムを開催する。その案内と内容が今日は全然違うということ、そして進みも全然違うという話かと思う。</p> <p>資料 2 の 27～28 ページに土淵地域の進捗を表にしているが、土淵地域の場合、約一年以上前に、2 年に 1 回の周期で市長が出席する「まちづくり懇談会」があり、土淵地域の場合は 30 年 5 月に行い、駅の事、道路の事や今の候補地のことや</p> <p>(説明途中で質問者発言「あまり沢山ではなく率直な言葉で。」)</p> <p>そういった話し合いを 1 年以上前から続けてきた経緯があるので、今度はこのようなお話はどうかということで設定した。</p>
<p>L</p>	<p>19 事業をしている方々は店舗分の土地はすべて購入しているので皆さん地権者だ。私も前潟で会社をしているので地権者だ。今回は集会の案内を初めてもらった。今まで何をやってたか全然知らなかった、恥かしい話かもしれないが。いちいち新聞で見ればよかったのか。なぜ初めてもらったのかといえば、私はこういうことだと思う。反対署名を市に届けた方がいて、その中の一人が前潟の商店は全然誰も知らない、店に案内がないのは失礼ではないかという声を届けたら来た。それを届けたのが 8 月のお盆明けだ。しかし今日現在店には来ていない。もう一つ、その時に、市になぜ店にお知らせしないのかと聞いたら、地元任せしていると。こんな大事なものを地元任せしているという話はないだろう。今それを届けた方が 2～3 人いる。店を全く馬鹿にしているではないか。店は一生懸命売り上げを確保しようとして従業員にも一生懸命頑張ってもらっている。大事な雇用の場所である。その雇用の場所を、色をつけて渡さなかったのか。</p>
<p>→菅原事務局長</p>	<p>19 決して私達とすれば色をつけるというつもりはなかったが、町内会・自治会にと、話した際には、昨年度も何回か説明会・懇談会があったが、自治会の方から店などにも、自治会に入り、協賛金を出している店には届けていると聞いていたが、何らかの理由で届いていなかったということだと思うので、届けるようにして</p>

	いきます。
L	<p>20 もう一つ、これを見てほしい。（市のみに資料提示）盛岡インターチェンジ付近に施設ができていいのか。市の対応によってはインターネットに載せる。</p> <p>（参加者発言「内容を説明してください。」「この場で、公にできない話であれば、直接市役所に持って行ってください。」）</p> <p>やめます。後で回答をもらいに行く。</p>
⑬ M	<p>21 資料2の6ページで近隣の測定結果が書かれているが、測定場所の松園・上米内で二酸化硫黄，二酸化窒素，浮遊粒子状物質が建設前の平成8～9年の数値と，建設後の平成30年の数値が明らかに建設後のほうが良く見えるが本当か。クリーンセンターを建てたことによって環境が著しく好転しているのか。そこを市としてどのように評価して，これが本当のこととして評価しているのか教えてほしい。また，これを見るとクリーンセンターができると非常に環境が良くなるように見えるが本当なのか。市としてどう捉えるのか。</p>
→森田主幹	<p>21 掲載の数値はそのとおりで，決してクリーンセンターができたから環境が良くなったというわけではなく，そのために書いたものでもない。おそらく建設前の平成8～9年当時から，この時期は自動車の排ガス基準などが変わり，その影響もあると思う。小型焼却炉の禁止などもあり，世の中の社会経済が環境対策に動いていった結果によって，測定項目について改善効果が認められたのではないかと思う。</p> <p>（質問者発言「条件が違うのであれば，資料として不適切ではないか。」）</p>
C	<p>22 広域化と普通のごみ焼却場を混同して考えているところもあるのではないか。我々前潟の会と太田の会は，今回の広域化計画，なぜ3市5町のごみを盛岡市に集めなければならないのか，おかしいのでこれについては反対だと。だから盛岡独自の自区内処理というのが基本で，盛岡自体のごみ焼却場については，さらにみんなで議論しながら考えていけばいいという話だ。</p> <p>それから，広域化で1日500トンという数字が出されているが，そもそも，前の質問の中でも10年後には人口がどうなるという話</p>

	<p>もあるし、盛岡の広報に載ったが、リサイクル率、たった2カ年の比較で何が分かるのか。盛岡のリサイクル率は16パーセントだ。それで、盛岡のホームページを探した。以前は、毎年清掃事業概要が出ていたが、どう探してもない。これは故意になくしたのではないか。調べる資料がない。10年前のリサイクル率はどうだったのか。あまりにもリサイクル率が低い。ここをところを全然改善せず500トンにしたのか。</p>
→菅原事務局長	<p>22 清掃概要は、PDFでホームページに載せていたが、新しいのがないということかと思うので、過去のも含めて早めに出す。</p>
C	<p>23 前は過去分も載っていた。それが30年度分しかない。どう調べようがどこにもない。これは市が意図的に隠したのだ。</p>
→菅原事務局長	<p>23 決まった数値で隠すとかそういうことではないので、そこは（説明途中で質問者発言「24 じゃあ10年前も同じだったのか。」） 24 手元に10年前の数値はないが、ある数値で一番古いのは平成25年度で17.1パーセント。</p>
C	<p>25 25年度で17.1パーセント。全然低い。おそらく、過去には更に低い数値になっている可能性もある。そこが全然分からない。そういうのがあるにも関わらず、なんらそこは改善しようとししない。そういう中で500トンだけは決める。数字の根拠さえおかしいのではないか。リサイクルをとにかく徹底的にやって、その上で、どの位の規模の焼却場を造ればいいのかと考えるのが順番ではないのか。</p>
→菅原事務局長	<p>25 今の話の中で、リサイクル率の数値の出方は、分子になるものとして、例えば新聞など古紙の分があり、少し変わってきた背景もあるが、数値そのものは、確かに大きくは上がっていない。ただ、平成22年度から紙とプラスチックの容器包装の分別を皆様にお願ひしたり、それから、量的には少ないが、小型家電の分別をお願ひしたり、全国的に取り組まれている中の分別には、一定程度取り組んでいる。先ほど話したが、地区別収集のデータを示しながら地域と話し合いをしている。もちろん分別が一番のところがあるので、分別をしていかなければならない。 （参加者発言「高い町で80%ですよ。」） その中で取り組むべきところを、少しずつ、できるところを皆</p>

	<p>様のほうに</p> <p>(説明途中で質問者発言「26」今広域化の話をしている。500 トンと決めた。リサイクルをやっているとは言うが、数字上は進んでいない。それなのになぜ 500 トンになるのか。)」</p>
→菅原事務局長	<p>27」先程から地域の方ともごみの説明会を年 2 回ほど回らせてもらいながら分別であったり</p> <p>(説明途中で質問者発言「28」だから、今やってますではない。)」</p>
→菅原事務局長	<p>28」それもまた、人口が毎年毎年変わる場合には</p> <p>(説明途中で質問者発言「29」人口だけじゃない。リサイクル率がどうなのか。)」</p>
→菅原事務局長	<p>29」リサイクル率は分別と総排出量との結果になるので、その辺のところも皆様に</p> <p>(説明途中で質問者発言「30」だから計画自体が、説明がなってないということだ。)」</p> <p>(参加者発言「質問に答えないからやり取りが多くなる。計画があるのかと聞いているのに対して、地域の皆様と言ったら話がかみ合わない。)」</p>
→菅原事務局長	<p>30」リサイクル率については、先ほどの地域計画、10 年で 10%の減量に取り組む中で、広域 8 市町で数値を見ながら、ほぼ数値は計算しており、1 年間で 1%ずつ減らしていくという</p> <p>(説明途中で質問者発言「31」1%。リサイクル率を聞いている。だから 10 年間何やってきたのということになる。全然リサイクル率が変わっていないにも関わらず、広域化で 500 トンは根拠として成り立たない。)」</p>
→菅原事務局長	<p>31」リサイクル率は、29 年度は広域 8 市町のトータルで 18.8 パーセントだが、目標が令和 6 年度で 19.2 パーセントに</p> <p>(説明途中で質問者発言「32」たったの 19。目標だそれは。平均して 18.8 ということは他のところも、広域の自治体というのはそもそもリサイクル率が低い。全国的に、やっているところは 8 割という率でやっている。盛岡の広域の中で一番リサイクル率が高いのは葛巻町でそれでも 3 割。お話にならない。広域化の問題ではない。)」</p> <p>(参加者発言「答えなきや何回も言う。しっかり答えなさい。)」</p>

→菅原事務局長	<p>32 例えば 10 万人未満の市町村では鹿児島県の大崎町が 82.9 パーセント、人口規模が大きくなると少し減ってくるが、10 万以上 50 万未満で一番高いのが東京の小金井市で 51.8、人口 50 万以上だと千葉市で 32.6 というのがあり、その辺は我々としても目標とすべきところだとは思いますが</p> <p>(説明途中で質問者発言「33 だからそれは目標だ。今計画を進めようとしている。その時の根拠にはならない。」)</p>
→菅原事務局長	<p>33 数字の大きいところ、一番のところを目標に話は出ているが、やはり現時点で少しずつ上げていくことを考えなければならぬ。</p>
C	<p>34 だから今は広域化という話はできない。こういう計画はできない。説明出来ない。</p> <p>(参加者発言「500 トンの根拠ってことでしょ。」)</p>
→菅原事務局長	<p>34 人口と、1 人あたりの排出</p> <p>(説明途中で参加者発言「計画がはっきりしてないのであれば広域化は進められないということを行っている。そのことについて答えられないから時間がかかる」)</p> <p>(参加者発言「さっきの説明で事業系の話が出た。一般家庭のごみと事業系のごみはどれくらいの割合なのか。」)</p> <p>家庭系のごみが 6 割、事業系のごみが 4 割になっている。</p>
H	<p>35 4 割を占める事業系ごみのリサイクルや削減計画はどうなっているのか。私も会社に勤めていた頃は担当しており、毎年報告書を持って若園町に行っていたが、削減についての指導は 1 回もなかった。</p>
→菅原事務局長	<p>35 資源の分別をお願いしたいと考えて、特に分かりやすい入り方として、古紙類を資源の方に回してもらおうということで、来年度から市の施設側での受入を制限したいという事を、勝手に始める訳には行かないので周知期間をとりながら古紙の資源化、持ってくる量が減る</p> <p>(説明途中で質問者発言「私が言っているのはそうではなく、企業に減量の啓発の指導はどうするのか。」)</p> <p>そこは、やはり仕組みとして一連の流れでやる方が他社の</p> <p>(説明途中で質問者発言「来たごみを処理するのではなく出なく</p>

	する。リサイクル減量を先にしないと。順序が逆だ。」)
⑭ N	36 まだまだ質問したい方が尽きないようだが、説明会は今日で終わりではないのか。
→菅原事務局長	36 また来なければならないと考えている。
N	皆さんの意見の方向性は市に伝わっていると思う。ただ、回答については、準備が足りない部分や、内部で検討しなければならないこともある。今回は最後ではないということは、先ほど部長が答えてくれたので、時間を考えればそろそろ限界ではないか。
→菅原事務局長	なるべく早めの設定を考えていきたい。

(5) 閉会

以上